

松山大学所報研究助成講演会

演題：「民主主義とは何か——政治思想史的考察」

講師：森川 輝一氏（京都大学大学院法学研究科教授）

講演概要

トランプ政権の誕生に象徴される、世界的なポピュリズムの高まりは、既存の政党や政治家といった代表のみならず、代表制という現代民主主義の基本的な制度と理念そのものに対する人びとの不満や不信の高まりを示しているように見える。民主主義という政治原理が内包する困難を政治思想史的に考察することで、現代の危機の所在を明らかにするとともに、民主主義の本質と価値について再考を試みたい。

（参考文献）

H・ケルゼン『民主主義の本質と価値』（岩波文庫、2015）

J・クロッペンバーグ『オバマを読む——アメリカ政治思想の文脈』（岩波書店、2012）

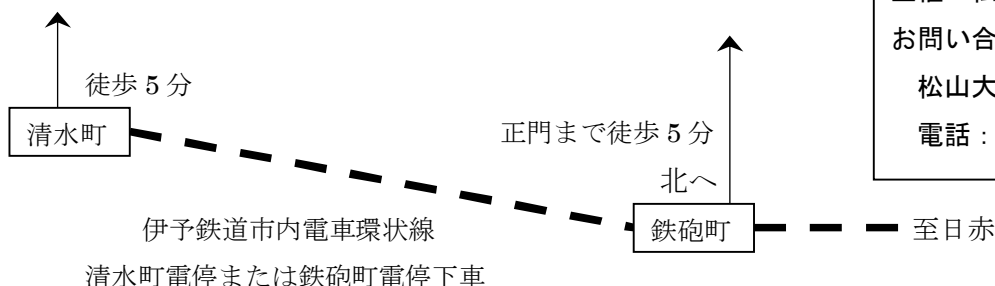
コーディネーター：松山大学法学部教授 遠藤 泰弘

日時：2017年 **12月25日**（月）

18：00～19：30

入場無料・参加自由

場所：松山大学 8号館4階 845教室



講師：森川 輝一氏の経歴

1971年 埼玉県生まれ

京都大学法学部卒業、京都大学大学院法学研究科修了、名城大学法学部准教授を経て、現在一京都大学大学院法学研究科教授

著書—『〈始まり〉のアーレント——「出生」の思想の誕生』（岩波書店）、編著書『講義 政治思想と文学』（ナカニシヤ出版）

主催 松山大学所報研究助成

お問い合わせ先

松山大学法学部遠藤研究室

電話：089-926-7024（直通）